

商店街活性化事業計画の概要

地 域	宮城県仙台市	認定日	平成23年4月18日
-----	--------	-----	------------

事業名：サンモール一番町ふれあいビレッジ事業

事業者名： サンモール一番町商店街振興組合
事業実施期間： 平成23年7月～平成28年3月

■商店街活性化事業の概要

商店街がおかれている現状、地理的条件、歴史的条件を利活用して、『サンモール一番町ふれあいビレッジ』のコンセプトのもと、ハードとソフトが相乗効果的に連動し、日常と非日常で日々表情を変える舞台装置、コミュニティストリート化を図ることにより、交流と観光性のあるユニークな仙台の名所として、人々が楽しく集まる、市民力を活かした商店街を創出、演出し、集客力・販売力アップを目指す。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

地域住民へのアンケートの結果、「コミュニティスペースやカルチャー系コンテンツ」、「商店街ホームページの強化」、「屋根の透明度が高く明るいアーケード」等の回答を得た。

◆実施計画の主な内容

①(仮称)サンモール一番町ふれあいビレッジの設立

実行委員会を立ち上げ、市民のコミュニティ施設の設置に向けたコンセンサスの形成、企画調査、市民や学生参加によるまちづくりサポーターの募集など、循環文化型のまちづくりを育てながらトータルプロデュースする。

②イベントの実施

いろは横丁や文化横丁、マルシェジャポンとのコラボレーションにより野中神社伝説イベントやまちなかフリーマーケット、年末年始合同販促イベントを開催する。

③空き店舗の活用事業

空き店舗を平日と休日、朝・昼・夜で効率的に活用し、マルシェジャポンやマチナカカレッジ拠点、NPO法人と連携の場など、シェアリングしながら利活用する。

④コミュニティ施設の設置

コミュニケーションスペースとして、乳幼児の託児機能や一時預かり機能、子育て支援機能を有する施設を設置する。

⑤情報発信機能の強化

商店街のイベント情報などを発信し、ブログやツイッター機能等に対応したポータルサイトの製作とガイドマップを作成する。

⑥アーケードの改修

老朽化が進む全長242メートルのアーケードについて、安全・安心の観点から平屋根を採光性に優れ、環境にやさしい素材に改修、防犯カメラ設置、大型スクリーン設置などにより、全面リニューアルする。

■商店街活性化事業計画の目標

平成22年には18,000人/日であった歩行者通行量を27年には20,000人/日、また、21年には5店舗ある空き店舗を27年には半減することを目指す。

【野中神社奉納相撲大会の様子】



【サンモール一番町商店街アーケード全景】

